大館市政だより

第三十六号
毎月1回発行
発行所秋田県大館市　大館市役所
編集兼発行人　田村正六

めざましい復興
駅前大火一週年迎える
着々進む火災復興都市計画

花見行楽で賑わっていた、昨年五月三日。駅前東方住宅地帯の一角から発した火の手は、折柄の東北東十三米の強風にあおられて、躁気、消防も空しく、僅か二時間で駅前繁華街一帯五万三千三百坪に亘る区域を焼き尽し、住家三二三戸（うち半焼九戸）非住家一八五戸（うち半焼二九戸）の建物、家財、商品等約十億の財宝を灰燼に帰し、二六四世帯、一二二八人を焼土にたゝしめてしまった。〝禍を転じて福となそう〟焼土に立った市長の決意はそのまゝ、駅前復興への市のスローガンとなり、被災市民の合言葉ともなって、力強い復興の歩みがつづけられて来た。

この火災の直接原因は失火であるが、しかし、このような大事に至った原因には、道路の狭隘、路線系統の欠如等による消防活動の障碍も多かったので、市では、再びこのような惨禍を繰返すことのない不燃都市計画による本格的な、土地の区画整理を断行した。

区画整理区域は、中道三角、二本杉後、二本杉下、松木境、松木道下、石仏後の一部、清水堰合、板子石境、以上清水堰添の全部、街路千八百五十七米、区画街路二千五百二十三米、排水路五百二十米、公園緑地千五十坪の造成等で、その事業費は概算で七千万円余とされている。

しかし指定区域五万五千坪の中には、私鉄小坂鉄道の施設等があり、これらの撤去移転については日時を要するので、取り敢えず、急施を要する大館駅前地区三万五千坪を第一期工事とし事業費三千五百万円を以てニケ年（三〇、三十一年度）継続事業として着手した。

この計画による公共施設では、イ、幹線街道（都市計画既定線）三線
1、大館駅線、巾員二十二米、十八米、十一米
2、大館駅、東大館線、巾員二十二米、延長九十米。
3、中央線、巾員二十三米、十五米、延長二百九十米。

以上の三線で、駅前広場は巾員二、四米、延長六百四十五米。二号水路、巾員四十六米、延長百六十米。

また中央線は、将来の立体交叉に備え、拡巾の土地を保留するに止めている。

補助線は十二線で、巾員八米もの四線、延長八百六十八米。巾員六米（一部四米）もの七線、延長千三百九十五米。

同地域内には空地が乏しく、美観、保健上は勿論、非常災害にも不利であるため、第一公園三百十九坪、第二公園七百四十五坪が施設される。

これ等区画整理事業に対しその事業費の五割が国庫の補助によるものであり、第一期事業は既にその六〇％を完了、予定より早い進捗度を示している。

事業完成の暁は、躍進する大館市にふさわしい駅前繁華街が形成される。

中小企業者へ
短期融資

このたび市では、市内の中小企業者のうち、金融の助成を必要とする業者に対し、指定金融機関を通じて短期の企業運転資金を貸付け、この面を通じて中小企業の育成と振興をはかるとして、本資成資金を必要とする者。

▼貸付金額　一人一口、二十万円以内。
▼貸付期間　三ケ月以内。
▼利息　銀行等の普通貸付金利。
▼申込先　商工課商工係
◎預託資金の関係上、五月下旬から実施する見込。

舗又は工場を有し、一ケ年以上本市に居住すると共に、市税を完納した個人又は法人（組合・会社等）で、企業の運転資金として、本資成資金を必要とする者。

▼貸付金額　一人一口、二十万円以内。
▼貸付期間　三ケ月以内。
▼利息　銀行等の普通貸付金利。
▼申込先　商工課商工係
◎預託資金の関係上、五月下旬から実施する見込。

安くなる水道料金
―水道使用料一部改正―
停電時はデーゼル機関で送水

冬期積雪の為、昨年十二月末より休止しておりました配水管布設本工事を、材料の入荷と共に愈々四月下旬から着工致しました。

本年中の実施予定工事は、昨年分も含めて、繰工事量の八十％位を予定する見込です。

尚デーゼル機関も入荷しているので、五月中には取付を了し、不時の停電や、定例停電日でも平常送水をして、需用者に御迷惑を掛けることがない様になりました。この外に、長根山附近に、容量二千トン（全需要者の八時間使用量）の貯水池の築造工事も、五月中に着工、十月迄に完成の予定です。

料金改正

四月一日以降水道使用料等が、一部改正されましたので、お知らせ致します。

▼湯屋営業用　超過料金一トンに付十五円（二十円）
▼工業用　超過料金一トンに付十五円（三十円）
▼観賞用　基本料金月間十トンまで五百円（千五百円）超過料金一トンに付五十円（二百円）
▼臨時用　基本料金月間十トンまで三百円（二百円）
▼定額栓（共用栓）　基本料金五人迄百五十円（百円）
◎メーター使用料

口径	耗　改正使用料（旧）
二三	四〇円（三〇）
一六	五五円（四〇）
二三	七五円（五〇）
三三	一一〇円（七五）
四〇	一五〇円（八〇）
五五	二〇〇円（一〇〇）
七五	二五〇円（一五〇）
一〇〇	三五〇円（二〇〇）
一五〇	五〇〇円（三〇〇）
二〇〇	七〇〇円（四〇〇）

◎お願い
工事再開と共に、道路の堀り返し等で、皆様の通行に御不便をおかけいたして居りますが、よろしく御協力をお願い致します。尚、水道課では、事故ようと、緑の週間が始まった二十五日市の緑化実施に際し、現金一万円入りの匿名封書が投げ込まれた中には次のような詩が書き記されていた。七・八年前あることからの刺戟で生じた思いつきを、幾人かの人達の指導や援けで仕事に移してみた。しかし現在の姿は、こうした目的のための仕事が、仕事のための目的となりかけ、また幾多の外的な障碍にも遭遇した。この苦難がかえって第二、第三の仕事を生み出す力となり、やがて希望がかなえられようとしている仕事だが、目的の実現につれ、ホットした気持で、これを緑の週間に協力したい私のさゝやかな希望に留めた、全くさゝやかなものだが、数年後立派な緑の大木と仰ぎ、育って行くことを祈りたい。市では、この匿れた一市民の厚志に深く感銘、その意志にそうような積極を行うことにした。

萬一の用心に

消防用貯水槽や水道消火栓のある場所へ、車馬や、薪材など置きっぱなしにされると、不時の火災に敏活な消防作業ができませんから、お互いに注意いたしましょう。

選挙人名簿の登録を確めよう

参議院議員選挙は六月中に執行が予定されています。

選挙権を行使するには、その選挙に使用される選挙人名簿に登録されていなければなりません。

あなたの、お名前が、この選挙人名簿に登録されているかどうか、市選挙管理委員会で確めて下さい。

緑の大木に

匿名で一万円

荒れた国土に緑の潤いを与えようと、緑の週間が始まった二十五日市の緑化実施に際し、現金一万円入りの匿名封書が投げ込まれた中には次のような詩が書き記されていた。七・八年前あることからの刺戟で生じた思いつきを、幾人かの人達の指導や援けで仕事に移してみた。しかし現在の姿は、こうした目的のための仕事が、仕事のための目的となりかけ、また幾多の外的な障碍にも遭遇した。この苦難がかえって第二、第三の仕事を生み出す力となり、やがて希望がかなえられようとしている仕事だが、目的の実現につれ、ホットした気持で、これを緑の週間に協力したい私のさゝやかな希望に留めた、全くさゝやかなものだが、数年後立派な緑の大木と仰ぎ、育って行くことを祈りたい。市では、この匿れた一市民の厚志に深く感銘、その意志にそうような積極を行うことにした。

字の区域変更についてお知らせ

秋田県告示第百二十四号により、左記字の区域が変更、昭和三十一年四月十日から施行されました。

▼大字軽井沢字大清水一の内、一二〇の内、一三二の内及び同地先道路、字北平三三の内、三四の内及び同地先道路、字北平五四の内、五五の内、六三の内、六四の内及び同地先道路、字北平七二の内、七三の内、七四の内及び同地先道路、字北平八〇の内、八一の内及び同地先道路、字北平九〇の内、九一の内及び同地先道路、字北平一〇〇の内、一一〇の内及び同地先道路、字北平一二〇の内、一三〇の内及び同地先道路、字北平一三二の内、一三三の内及び同地先道路、字北平一三四の内及び同地先道路、字北平一三五の内、一三六の内及び同地先道路、字北平一三七の内、一三八の内及び同地先道路、字北平一三九の内及び同地先道路、字北平一四〇の内及び同地先道路、字北平一四一の内及び同地先道路、字北平一四二の内及び同地先道路、字北平一四三の内及び同地先道路、字北平一四四の内及び同地先道路、字北平一四五の内及び同地先道路、字北平一四六の内及び同地先道路、字北平一四七の内及び同地先道路、字北平一四八の内及び同地先道路、字北平一四九の内及び同地先道路、字北平一五〇の内及び同地先道路、字北平一五一の内及び同地先道路、字北平一五二の内及び同地先道路、字北平一五三の内及び同地先道路、字北平一五四の内及び同地先道路、字北平一五五の内及び同地先道路、字北平一五六の内及び同地先道路、字北平一五七の内及び同地先道路、字北平一五八の内及び同地先道路、字北平一五九の内及び同地先道路、字北平一六〇の内及び同地先道路、字北平一六一の内及び同地先道路、字北平一六二の内及び同地先道路、字北平一六三の内及び同地先道路、字北平一六四の内及び同地先道路、字北平一六五の内及び同地先道路、字北平一六六の内及び同地先道路、字北平一六七の内及び同地先道路、字北平一六八の内及び同地先道路、字北平一六九の内及び同地先道路、字北平一七〇の内及び同地先道路、字北平一七一の内及び同地先道路、字北平一七二の内及び同地先道路、字北平一七三の内及び同地先道路、字北平一七四の内及び同地先道路、字北平一七五の内及び同地先道路、字北平一七六の内及び同地先道路、字北平一七七の内及び同地先道路、字北平一七八の内及び同地先道路、字北平一七九の内及び同地先道路、字北平一八〇の内及び同地先道路、字北平一八一の内及び同地先道路、字北平一八二の内及び同地先道路、字北平一八三の内及び同地先道路、字北平一八四の内及び同地先道路、字北平一八五の内及び同地先道路、字北平一八六の内及び同地先道路、字北平一八七の内及び同地先道路、字北平一八八の内及び同地先道路、字北平一八九の内及び同地先道路、字北平一九〇の内及び同地先道路、字北平一九一の内及び同地先道路、字北平一九二の内及び同地先道路、字北平一九三の内及び同地先道路、字北平一九四の内及び同地先道路、字北平一九五の内及び同地先道路、字北平一九六の内及び同地先道路、字北平一九七の内及び同地先道路、字北平一九八の内及び同地先道路、字北平一九九の内及び同地先道路、字北平二〇〇の内及び同地先道路、字北平二〇一の内及び同地先道路、字北平二〇二の内及び同地先道路、字北平二〇三の内及び同地先道路、字北平二〇四の内及び同地先道路、字北平二〇五の内及び同地先道路、字北平二〇六の内及び同地先道路、字北平二〇七の内及び同地先道路、字北平二〇八の内及び同地先道路、字北平二〇九の内及び同地先道路、字北平二一〇の内及び同地先道路、字北平二一一の内及び同地先道路、字北平二一二の内及び同地先道路、字北平二一三の内及び同地先道路、字北平二一四の内及び同地先道路、字北平二一五の内及び同地先道路、字北平二一六の内及び同地先道路、字北平二一七の内及び同地先道路、字北平二一八の内及び同地先道路、字北平二一九の内及び同地先道路、字北平二二〇の内及び同地先道路、字北平二二一の内及び同地先道路、字北平二二二の内及び同地先道路、字北平二二三の内及び同地先道路、字北平二二四の内及び同地先道路、字北平二二五の内及び同地先道路、字北平二二六の内及び同地先道路、字北平二二七の内及び同地先道路、字北平二二八の内及び同地先道路、字北平二二九の内及び同地先道路、字北平二三〇の内及び同地先道路、字北平二三一の内及び同地先道路、字北平二三二の内及び同地先道路、字北平二三三の内及び同地先道路、字北平二三四の内及び同地先道路、字北平二三五の内及び同地先道路、字北平二三六の内及び同地先道路、字北平二三七の内及び同地先道路、字北平二三八の内及び同地先道路、字北平二三九の内及び同地先道路、字北平二四〇の内及び同地先道路、字北平二四一の内及び同地先道路、字北平二四二の内及び同地先道路、字北平二四三の内及び同地先道路、字北平二四四の内及び同地先道路、字北平二四五の内及び同地先道路、字北平二四六の内及び同地先道路、字北平二四七の内及び同地先道路、字北平二四八の内及び同地先道路、字北平二四九の内及び同地先道路、字北平二五〇の内及び同地先道路、字北平二五一の内及び同地先道路、字北平二五二の内及び同地先道路、字北平二五三の内及び同地先道路、字北平二五四の内及び同地先道路、字北平二五五の内及び同地先道路、字北平二五六の内及び同地先道路、字北平二五七の内及び同地先道路、字北平二五八の内及び同地先道路、字北平二五九の内及び同地先道路、字北平二六〇の内及び同地先道路、字北平二六一の内及び同地先道路、字北平二六二の内及び同地先道路、字北平二六三の内及び同地先道路、字北平二六四の内及び同地先道路、字北平二六五の内及び同地先道路、字北平二六六の内及び同地先道路、字北平二六七の内及び同地先道路、字北平二六八の内及び同地先道路、字北平二六九の内及び同地先道路、字北平二七〇の内及び同地先道路、字北平二七一の内及び同地先道路、字北平二七二の内及び同地先道路、字北平二七三の内及び同地先道路、字北平二七四の内及び同地先道路、字北平二七五の内及び同地先道路、字北平二七六の内及び同地先道路、字北平二七七の内及び同地先道路、字北平二七八の内及び同地先道路、字北平二七九の内及び同地先道路、字北平二八〇の内及び同地先道路、字北平二八一の内及び同地先道路、字北平二八二の内及び同地先道路、字北平二八三の内及び同地先道路、字北平二八四の内及び同地先道路、字北平二八五の内及び同地先道路、字北平二八六の内及び同地先道路、字北平二八七の内及び同地先道路、字北平二八八の内及び同地先道路、字北平二八九の内及び同地先道路、字北平二九〇の内及び同地先道路、字北平二九一の内及び同地先道路、字北平二九二の内及び同地先道路、字北平二九三の内及び同地先道路、字北平二九四の内及び同地先道路、字北平二九五の内及び同地先道路、字北平二九六の内及び同地先道路、字北平二九七の内及び同地先道路、字北平二九八の内及び同地先道路、字北平二九九の内及び同地先道路、字北平三〇〇の内及び同地先道路、字北平三〇一の内及び同地先道路、字北平三〇二の内及び同地先道路、字北平三〇三の内及び同地先道路、字北平三〇四の内及び同地先道路、字北平三〇五の内及び同地先道路、字北平三〇六の内及び同地先道路、字北平三〇七の内及び同地先道路、字北平三〇八の内及び同地先道路、字北平三〇九の内及び同地先道路、字北平三一〇の内及び同地先道路、字北平三一一の内及び同地先道路、字北平三一二の内及び同地先道路、字北平三一三の内及び同地先道路、字北平三一四の内及び同地先道路、字北平三一五の内及び同地先道路、字北平三一六の内及び同地先道路、字北平三一七の内及び同地先道路、字北平三一八の内及び同地先道路、字北平三一九の内及び同地先道路、字北平三二〇の内及び同地先道路、字北平三二一の内及び同地先道路、字北平三二二の内及び同地先道路、字北平三二三の内及び同地先道路、字北平三二四の内及び同地先道路、字北平三二五の内及び同地先道路、字北平三二六の内及び同地先道路、字北平三二七の内及び同地先道路、字北平三二八の内及び同地先道路、字北平三二九の内及び同地先道路、字北平三三〇の内及び同地先道路、字北平三三一の内及び同地先道路、字北平三三二の内及び同地先道路、字北平三三三の内及び同地先道路、字北平三三四の内及び同地先道路、字北平三三五の内及び同地先道路、字北平三三六の内及び同地先道路、字北平三三七の内及び同地先道路、字北平三三八の内及び同地先道路、字北平三三九の内及び同地先道路、字北平三四〇の内及び同地先道路、字北平三四一の内及び同地先道路、字北平三四二の内及び同地先道路、字北平三四三の内及び同地先道路、字北平三四四の内及び同地先道路、字北平三四五の内及び同地先道路、字北平三四六の内及び同地先道路、字北平三四七の内及び同地先道路、字北平三四八の内及び同地先道路、字北平三四九の内及び同地先道路、字北平三五〇の内及び同地先道路、字北平三五一の内及び同地先道路、字北平三五二の内及び同地先道路、字北平三五三の内及び同地先道路、字北平三五四の内及び同地先道路、字北平三五五の内及び同地先道路、字北平三五六の内及び同地先道路、字北平三五七の内及び同地先道路、字北平三五八の内及び同地先道路、字北平三五九の内及び同地先道路、字北平三六〇の内及び同地先道路、字北平三六一の内及び同地先道路、字北平三六二の内及び同地先道路、字北平三六三の内及び同地先道路、字北平三六四の内及び同地先道路、字北平三六五の内及び同地先道路、字北平三六六の内及び同地先道路、字北平三六七の内及び同地先道路、字北平三六八の内及び同地先道路、字北平三六九の内及び同地先道路、字北平三七〇の内及び同地先道路、字北平三七一の内及び同地先道路、字北平三七二の内及び同地先道路、字北平三七三の内及び同地先道路、字北平三七四の内及び同地先道路、字北平三七五の内及び同地先道路、字北平三七六の内及び同地先道路、字北平三七七の内及び同地先道路、字北平三七八の内及び同地先道路、字北平三七九の内及び同地先道路、字北平三八〇の内及び同地先道路、字北平三八一の内及び同地先道路、字北平三八二の内及び同地先道路、字北平三八三の内及び同地先道路、字北平三八四の内及び同地先道路、字北平三八五の内及び同地先道路、字北平三八六の内及び同地先道路、字北平三八七の内及び同地先道路、字北平三八八の内及び同地先道路、字北平三八九の内及び同地先道路、字北平三九〇の内及び同地先道路、字北平三九一の内及び同地先道路、字北平三九二の内及び同地先道路、字北平三九三の内及び同地先道路、字北平三九四の内及び同地先道路、字北平三九五の内及び同地先道路、字北平三九六の内及び同地先道路、字北平三九七の内及び同地先道路、字北平三九八の内及び同地先道路、字北平三九九の内及び同地先道路、字北平四〇〇の内及び同地先道路、字北平四〇一の内及び同地先道路、字北平四〇二の内及び同地先道路、字北平四〇三の内及び同地先道路、字北平四〇四の内及び同地先道路、字北平四〇五の内及び同地先道路、字北平四〇六の内及び同地先道路、字北平四〇七の内及び同地先道路、字北平四〇八の内及び同地先道路、字北平四〇九の内及び同地先道路、字北平四一〇の内及び同地先道路、字北平四一一の内及び同地先道路、字北平四一二の内及び同地先道路、字北平四一三の内及び同地先道路、字北平四一四の内及び同地先道路、字北平四一五の内及び同地先道路、字北平四一六の内及び同地先道路、字北平四一七の内及び同地先道路、字北平四一八の内及び同地先道路、字北平四一九の内及び同地先道路、字北平四二〇の内及び同地先道路、字北平四二一の内及び同地先道路、字北平四二二の内及び同地先道路、字北平四二三の内及び同地先道路、字北平四二四の内及び同地先道路、字北平四二五の内及び同地先道路、字北平四二六の内及び同地先道路、字北平四二七の内及び同地先道路、字北平四二八の内及び同地先道路、字北平四二九の内及び同地先道路、字北平四三〇の内及び同地先道路、字北平四三一の内及び同地先道路、字北平四三二の内及び同地先道路、字北平四三三の内及び同地先道路、字北平四三四の内及び同地先道路、字北平四三五の内及び同地先道路、字北平四三六の内及び同地先道路、字北平四三七の内及び同地先道路、字北平四三八の内及び同地先道路、字北平四三九の内及び同地先道路、字北平四四〇の内及び同地先道路、字北平四四一の内及び同地先道路、字北平四四二の内及び同地先道路、字北平四四三の内及び同地先道路、字北平四四四の内及び同地先道路、字北平四四五の内及び同地先道路、字北平四四六の内及び同地先道路、字北平四四七の内及び同地先道路、字北平四四八の内及び同地先道路、字北平四四九の内及び同地先道路、字北平四五〇の内及び同地先道路、字北平四五一の内及び同地先道路、字北平四五二の内及び同地先道路、字北平四五三の内及び同地先道路、字北平四五四の内及び同地先道路、字北平四五五の内及び同地先道路、字北平四五六の内及び同地先道路、字北平四五七の内及び同地先道路、字北平四五八の内及び同地先道路、字北平四五九の内及び同地先道路、字北平四六〇の内及び同地先道路、字北平四六一の内及び同地先道路、字北平四六二の内及び同地先道路、字北平四六三の内及び同地先道路、字北平四六四の内及び同地先道路、字北平四六五の内及び同地先道路、字北平四六六の内及び同地先道路、字北平四六七の内及び同地先道路、字北平四六八の内及び同地先道路、字北平四六九の内及び同地先道路、字北平四七〇の内及び同地先道路、字北平四七一の内及び同地先道路、字北平四七二の内及び同地先道路、字北平四七三の内及び同地先道路、字北平四七四の内及び同地先道路、字北平四七五の内及び同地先道路、字北平四七六の内及び同地先道路、字北平四七七の内及び同地先道路、字北平四七八の内及び同地先道路、字北平四七九の内及び同地先道路、字北平四八〇の内及び同地先道路、字北平四八一の内及び同地先道路、字北平四八二の内及び同地先道路、字北平四八三の内及び同地先道路、字北平四八四の内及び同地先道路、字北平四八五の内及び同地先道路、字北平四八六の内及び同地先道路、字北平四八七の内及び同地先道路、字北平四八八の内及び同地先道路、字北平四八九の内及び同地先道路、字北平四九〇の内及び同地先道路、字北平四九一の内及び同地先道路、字北平四九二の内及び同地先道路、字北平四九三の内及び同地先道路、字北平四九四の内及び同地先道路、字北平四九五の内及び同地先道路、字北平四九六の内及び同地先道路、字北平四九七の内及び同地先道路、字北平四九八の内及び同地先道路、字北平四九九の内及び同地先道路、字北平五〇〇の内及び同地先道路、字北平五〇一の内及び同地先道路、字北平五〇二の内及び同地先道路、字北平五〇三の内及び同地先道路、字北平五〇四の内及び同地先道路、字北平五〇五の内及び同地先道路、字北平五〇六の内及び同地先道路、字北平五〇七の内及び同地先道路、字北平五〇八の内及び同地先道路、字北平五〇九の内及び同地先道路、字北平五一〇の内及び同地先道路、字北平五一一の内及び同地先道路、字北平五一二の内及び同地先道路、字北平五一三の内及び同地先道路、字北平五一四の内及び同地先道路、字北平五一五の内及び同地先道路、字北平五一六の内及び同地先道路、字北平五一七の内及び同地先道路、字北平五一八の内及び同地先道路、字北平五一九の内及び同地先道路、字北平五二〇の内及び同地先道路、字北平五二一の内及び同地先道路、字北平五二二の内及び同地先道路、字北平五二三の内及び同地先道路、字北平五二四の内及び同地先道路、字北平五二五の内及び同地先道路、字北平五二六の内及び同地先道路、字北平五二七の内及び同地先道路、字北平五二八の内及び同地先道路、字北平五二九の内及び同地先道路、字北平五三〇の内及び同地先道路、字北平五三一の内及び同地先道路、字北平五三二の内及び同地先道路、字北平五三三の内及び同地先道路、字北平五三四の内及び同地先道路、字北平五三五の内及び同地先道路、字北平五三六の内及び同地先道路、字北平五三七の内及び同地先道路、字北平五三八の内及び同地先道路、字北平五三九の内及び同地先道路、字北平五四〇の内及び同地先道路、字北平五四一の内及び同地先道路、字北平五四二の内及び同地先道路、字北平五四三の内及び同地先道路、字北平五四四の内及び同地先道路、字北平五四五の内及び同地先道路、字北平五四六の内及び同地先道路、字北平五四七の内及び同地先道路、字北平五四八の内及び同地先道路、字北平五四九の内及び同地先道路、字北平五五〇の内及び同地先道路、字北平五五一の内及び同地先道路、字北平五五二の内及び同地先道路、字北平五五三の内及び同地先道路、字北平五五四の内及び同地先道路、字北平五五五の内及び同地先道路、字北平五五六の内及び同地先道路、字北平五五七の内及び同地先道路、字北平五五八の内及び同地先道路、字北平五五九の内及び同地先道路、字北平五六〇の内及び同地先道路、字北平五六一の内及び同地先道路、字北平五六二の内及び同地先道路、字北平五六三の内及び同地先道路、字北平五六四の内及び同地先道路、字北平五六五の内及び同地先道路、字北平五六六の内及び同地先道路、字北平五六七の内及び同地先道路、字北平五六八の内及び同地先道路、字北平五六九の内及び同地先道路、字北平五七〇の内及び同地先道路、字北平五七一の内及び同地先道路、字北平五七二の内及び同地先道路、字北平五七三の内及び同地先道路、字北平五七四の内及び同地先道路、字北平五七五の内及び同地先道路、字北平五七六の内及び同地先道路、字北平五七七の内及び同地先道路、字北平五七八の内及び同地先道路、字北平五七九の内及び同地先道路、字北平五八〇の内及び同地先道路、字北平五八一の内及び同地先道路、字北平五八二の内及び同地先道路、字北平五八三の内及び同地先道路、字北平五八四の内及び同地先道路、字北平五八五の内及び同地先道路、字北平五八六の内及び同地先道路、字北平五八七の内及び同地先道路、字北平五八八の内及び同地先道路、字北平五八九の内及び同地先道路、字北平五九〇の内及び同地先道路、字北平五九一の内及び同地先道路、字北平五九二の内及び同地先道路、字北平五九三の内及び同地先道路、字北平五九四の内及び同地先道路、字北平五九五の内及び同地先道路、字北平五九六の内及び同地先道路、字北平五九七の内及び同地先道路、字北平五九八の内及び同地先道路、字北平五九九の内及び同地先道路、字北平六〇〇の内及び同地先道路、字北平六〇一の内及び同地先道路、字北平六〇二の内及び同地先道路、字北平六〇三の内及び同地先道路、字北平六〇四の内及び同地先道路、字北平六〇五の内及び同地先道路、字北平六〇六の内及び同地先道路、字北平六〇七の内及び同地先道路、字北平六〇八の内及び同地先道路、字北平六〇九の内及び同地先道路、字北平六一〇の内及び同地先道路、字北平六一一の内及び同地先道路、字北平六一二の内及び同地先道路、字北平六一三の内及び同地先道路、字北平六一四の内及び同地先道路、字北平六一五の内及び同地先道路、字北平六一六の内及び同地先道路、字北平六一七の内及び同地先道路、字北平六一八の内及び同地先道路、字北平六一九の内及び同地先道路、字北平六二〇の内及び同地先道路、字北平六二一の内及び同地先道路、字北平六二二の内及び同地先道路、字北平六二三の内及び同地先道路、字北平六二四の内及び同地先道路、字北平六二五の内及び同地先道路、字北平六二六の内及び同地先道路、字北平六二七の内及び同地先道路、字北平六二八の内及び同地先道路、字北平六二九の内及び同地先道路、字北平六三〇の内及び同地先道路、字北平六三一の内及び同地先道路、字北平六三二の内及び同地先道路、字北平六三三の内及び同地先道路、字北平六三四の内及び同地先道路、字北平六三五の内及び同地先道路、字北平六三六の内及び同地先道路、字北平六三七の内及び同地先道路、字北平六三八の内及び同地先道路、字北平六三九の内及び同地先道路、字北平六四〇の内及び同地先道路、字北平六四一の内及び同地先道路、字北平六四二の内及び同地先道路、字北平六四三の内及び同地先道路、字北平六四四の内及び同地先道路、字北平六四五の内及び同地先道路、字北平六四六の内及び同地先道路、字北平六四七の内及び同地先道路、字北平六四八の内及び同地先道路、字北平六四九の内及び同地先道路、字北平六五〇の内及び同地先道路、字北平六五一の内及び同地先道路、字北平六五二の内及び同地先道路、字北平六五三の内及び同地先道路、字北平六五四の内及び同地先道路、字北平六五五の内及び同地先道路、字北平六五六の内及び同地先道路、字北平六五七の内及び同地先道路、字北平六五八の内及び同地先道路、字北平六五九の内及び同地先道路、字北平六六〇の内及び同地先道路、字北平六六一の内及び同地先道路、字北平六六二の内及び同地先道路、字北平六六三の内及び同地先道路、字北平六六四の内及び同地先道路、字北平六六五の内及び同地先道路、字北平六六六の内及び同地先道路、字北平六六七の内及び同地先道路、字北平六六八の内及び同地先道路、字北平六六九の内及び同地先道路、字北平六七〇の内及び同地先道路、字北平六七一の内及び同地先道路、字北平六七二の内及び同地先道路、字北平六七三の内及び同地先道路、字北平六七四の内及び同地先道路、字北平六七五の内及び同地先道路、字北平六七六の内及び同地先道路、字北平六七七の内及び同地先道路、字北平六七八の内及び同地先道路、字北平六七九の内及び同地先道路、字北平六八〇の内及び同地先道路、字北平六八一の内及び同地先道路、字北平六八二の内及び同地先道路、字北平六八三の内及び同地先道路、字北平六八四の内及び同地先道路、字北平六八五の内及び同地先道路、字北平六八六の内及び同地先道路、字北平六八七の内及び同地先道路、字北平六八八の内及び同地先道路、字北平六八九の内及び同地先道路、字北平六九〇の内及び同地先道路、字北平六九一の内及び同地先道路、字北平六九二の内及び同地先道路、字北平六九三の内及び同地先道路、字北平六九四の内及び同地先道路、字北平六九五の内及び同地先道路、字北平六九六の内及び同地先道路、字北平六九七の内及び同地先道路、字北平六九八の内及び同地先道路、字北平六九九の内及び同地先道路、字北平七〇〇の内及び同地先道路、字北平七〇一の内及び同地先道路、字北平七〇二の内及び同地先道路、字北平七〇三の内及び同地先道路、字北平七〇四の内及び同地先道路、字北平七〇五の内及び同地先道路、字北平七〇六の内及び同地先道路、字北平七〇七の内及び同地先道路、字北平七〇八の内及び同地先道路、字北平七〇九の内及び同地先道路、字北平七一〇の内及び同地先道路、字北平七一一の内及び同地先道路、字北平七一二の内及び同地先道路、字北平七一三の内及び同地先道路、字北平七一四の内及び同地先道路、字北平七一五の内及び同地先道路、字北平七一六の内及び同地先道路、字北平七一七の内及び同地先道路、字北平七一八の内及び同地先道路、字北平七一九の内及び同地先道路、字北平七二〇の内及び同地先道路、字北平七二一の内及び同地先道路、字北平七二二の内及び同地先道路、字北平七二三の内及び同地先道路、字北平七二四の内及び同地先道路、字北平七二五の内及び同地先道路、字北平七二六の内及び同地先道路、字北平七二七の内及び同地先道路、字北平七二八の内及び同地先道路、字北平七二九の内及び同地先道路、字北平七三〇の内及び同地先道路、字北平七三一の内及び同地先道路、字北平七三二の内及び同地先道路、字北平七三三の内及び同地先道路、字北平七三四の内及び同地先道路、字北平七三五の内及び同地先道路、字北平七三六の内及び同地先道路、字北平七三七の内及び同地先道路、字北平七三八の内及び同地先道路、字北平七三九の内及び同地先道路、字北平七四〇の内及び同地先道路、字北平七四一の内及び同地先道路、字北平七四二の内及び同地先道路、字北平七四三の内及び同地先道路、字北平七四四の内及び同地先道路、字北平七四五の内及び同地先道路、字北平七四六の内及び同地先道路、字北平七四七の内及び同地先道路、字北平七四八の内及び同地先道路、字北平七四九の内及び同地先道路、字北平七五〇の内及び同地先道路、字北平七五一の内及び同地先道路、字北平七五二の内及び同地先道路、字北平七五三の内及び同地先道路、字北平七五四の内及び同地先道路、字北平七五五の内及び同地先道路、字北平七五六の内及び同地先道路、字北平七五七の内及び同地先道路、字北平七五八の内及び同地先道路、字北平七五九の内及び同地先道路、字北平七六〇の内及び同地先道路、字北平七六一の内及び同地先道路、字北平七六二の内及び同地先道路、字北平七六三の内及び同地先道路、字北平七六四の内及び同地先道路、字北平七六五の内及び同地先道路、字北平七六六の内及び同地先道路、字北平七六七の内及び同地先道路、字北平七六八の内及び同地先道路、字北平七六九の内及び同地先道路、字北平七七〇の内及び同地先道路、字北平七七一の内及び同地先道路、字北平七七二の内及び同地先道路、字北平七七三の内及び同地先道路、字北平七七四の内及び同地先道路、字北平七七五の内及び同地先道路、字北平七七六の内及び同地先道路、字北平七七七の内及び同地先道路、字北平七七八の内及び同地先道路、字北平七七九の内及び同地先道路、字北平七八〇の内及び同地先道路、字北平七八一の内及び同地先道路、字北平七八二の内及び同地先道路、字北平七八三の内及び同地先道路、字北平七八四の内及び同地先道路、字北平七八五の内及び同地先道路、字北平七八六の内及び同地先道路、字北平七八七の内及び同地先道路、字北平七八八の内及び同地先道路、字北平七八九の内及び同地先道路、字北平七九〇の内及び同地先道路、字北平七九一の内及び同地先道路、字北平七九二の内及び同地先道路、字北平七九三の内及び同地先道路、字北平七九四の内及び同地先道路、字北平七九五の内及び同地先道路、字北平七九六の内及び同地先道路、字北平七九七の内及び同地先道路、字北平七九八の内及び同地先道路、字北平七九九の内及び同地先道路、字北平八〇〇の内及び同地先道路、字北平八〇一の内及び同地先道路、字北平八〇二の内及び同地先道路、字北平八〇三の内及び同地先道路、字北平八〇四の内及び同地先道路、字北平八〇五の内及び同地先道路、字北平八〇六の内及び同地先道路、字北平八〇七の内及び同地先道路、字北平八〇八の内及び同地先道路、字北平八〇九の内及び同地先道路、字北平八一〇の内及び同地先道路、字北平八一一の内及び同地先道路、字北平八一二の内及び同地先道路、字北平八一三の内及び同地先道路、字北平八一四の内及び同地先道路、字北平八一五の内及び同地先道路、字北平八一六の内及び同地先道路、字北平八一七の内及び同地先道路、字北平八一八の内及び同地先道路、字北平八一九の内及び同地先道路、字北平八二〇の内及び同地先道路、字北平八二一の内及び同地先道路、字北平八二二の内及び同地先道路、字北平八二三の内及び同地先道路、字北平八二四の内及び同地先道路、字北平八二五の内及び同地先道路、字北平八二六の内及び同地先道路、字北平八二七の内及び同地先道路、字北平八二八の内及び同地先道路、字北平八二九の内及び同地先道路、字北平八三〇の内及び同地先道路、字北平八三一の内及び同地先道路、字北平八三二の内及び同地先道路、字北平八三三の内及び同地先道路、字北平八三四の内及び同地先道路、字北平八三五の内及び同地先道路、字北平八三六の内及び同地先道路、字北平八三七の内及び同地先道路、字北平八三八の内及び同地先道路、字北平八三九の内及び同地先道路、字北平八四〇の内及び同地先道路、字北平八四一の内及び同地先道路、字北平八四二の内及び同地先道路、字北平八四三の内及び同地先道路、字北平八四四の内及び同地先道路、字北平八四五の内及び同地先道路、字北平八四六の内及び同地先道路、字北平八四七の内及び同地先道路、字北平八四八の内及び同地先道路、字北平八四九の内及び同地先道路、字北平八五〇の内及び同地先道路、字北平八五一の内及び同地先道路、字北平八五二の内及び同地先道路、字北平八五三の内及び同地先道路、字北平八五四の内及び同地先道路、字北平八五五の内及び同地先道路、字北平八五六の内及び同地先道路、字北平八五七の内及び同地先道路、字北平八五八の内及び同地先道路、字北平八五九の内及び同地先道路、字北平八六〇の内及び同地先道路、字北平八六一の内及び同地先道路、字北平八六二の内及び同地先道路、字北平八六三の内及び同地先道路、字北平八六四の内及び同地先道路、字北平八六五の内及び同地先道路、字北平八六六の内及び同地先道路、字北平八六七の内及び同地先道路、字北平八六八の内及び同地先道路、字北平八六九の内及び同地先道路、字北平八七〇の内及び同地先道路、字北平八七一の内及び同地先道路、字北平八七二の内及び同地先道路、字北平八七三の内及び同地先道路、字北平八七四の内及び同地先道路、字北平八七五の内及び同地先道路、字北平八七六の内及び同地先道路、字北平八七七の内及び同地先道路、字北平八七八の内及び同地先道路、字北平八七九の内及び同地先道路、字北平八八〇の内及び同地先道路、字北平八八一の内及び同地先道路、字北平八八二の内及び同地先道路、字北平八八三の内及び同地先道路、字北平八八四の内及び同地先道路、字北平八八五の内及び同地先道路、字北平八八六の内及び同地先道路、字北平八八七の内及び同地先道路、字北平八八八の内及び同地先道路、字北平八八九の内及び同地先道路、字北平八九〇の内及び同地先道路、字北平八九一の内及び同地先道路、字北平八九二の内及び同地先道路、字北平八九三の内及び同地先道路、字北平八九四の内及び同地先道路、字北平八九五の内及び同地先道路、字北平八九六の内及び同地先道路、字北平八九七の内及び同地先道路、字北平八九八の内及び同地先道路、字北平八九九の内及び同地先道路、字北平九〇〇の内及び同地先道路、字北平九〇一の内及び同地先道路、字北平九〇二の内及

赤十字社員増強 募金運動始まる

白い羽根募金運動に協力を

例年、五月一日から一ヶ月間にわたり〃白い羽根〃の赤十字募金運動が、全国的にくりひろげられて居ります。本市の白い羽根運動は、市民各位の理解と協力によって、毎年好成績をあげていますが、今年の本市目標額は、赤十字社員からの収納社費と一般募金とあわせて、四六八、〇〇〇円となって居ります。

市では、募金運動の成果をあげ、併せて赤十字社員の増強をはかるために、日赤市地区協賛委員会を設立して、新規社員の加入勧奨（制度改正によって、法人の社員加入の途がひらかれました。）と既往社員の社費完全収納にあたることとなりました。

本運動期間中、各地区、各町内毎に、委員、奉仕者が手分けして、各戸を訪問することになって居りますから、赤十字が理想とする「世界平和と人類の福祉」達成のために、背後からの力強い支えとして、市民各位の絶大なる御協力をお願い致します。

日赤社員制度の改正された点については、訪問委員が詳しく説明することになって居ります。大体の種別としては、年額百円以上の社費を納入すれば、すべて社員となるのですが、そのうち①十年間継続して年額三千円以上の納入者②一時又は数回に三千円以上一萬円未満の納入者③本年三月三十一日までに、既に十年一期として加入済の社員で納入社費額が千円に達したとき、または社費納入継続年数が十年に達したとき④社業に功労があった者等に対しては、特別社員の称号がおくられ、特別社員章が交付されることになっております。

また①社費として一時又は数回に一万円以上五万円未満の納入者②十年継続納入社費が一万円以上の者③特別社員が更に七千円以上の社費を新たに納入したとき④社業に功労あった者等に対しては、金色特別章が交付されます。

更に、一時又は数回に五萬円以上十万円未満の社費を納めた者、又は同額の寄附をした者には有功章を、同上の額が十万円以上の場合は、特別有功章がおくられることになっております

この規定は法人に対しても同様であります。どうか市民各位の御事情にあう種別に、御加入下さるようお願いします。

県内初の 芸術鑑賞協会誕生

より多くの人が、よい芸術を安く鑑賞でき、又あらゆる階層の人々が共に語り合い、芸術の鑑賞を通じてお互いの情操を高めようと市中央公民館の提唱で去る四月十八日、七十余名の発起人出席の下に、大館芸術鑑賞協会（芸協）が発足した。

会長に緑川正雄、副会長武茂信雄、石田よし子の各氏が選ばれ、音楽、演劇、舞踊その他総ての芸術分野を含めての会は、県内でもこれが初めてのものです。

公民館では、先進地の実状を調査し市内の教育文化職場等、各方面の方々による協議を重ね、又アンケートにより広く市民の意見を伺って具体案をまとめたもので、本年の行事予定計画は次のようになっています

1、設立記念公演五月十七日於桂高校、石井漠創作バレー団「人間釈迦」（文部大臣賞、舞踊芸術賞）

2、六月末、劇団民芸「西の国の人気者」宇野重吉小夜福子外

3、期日未定、美術文化協会美術展及び美術講演会

4、九月、井口基成、巌本真理演奏会

5、優秀映画の鑑賞（割引）試写会

6、レコードコンサート（月二乃至三回）

7、座談会、批評会、講演会の他会報の発行

会費は月五十円、入会金（入会時のみ）五十円で誰れでも入会出来ます。

会費の集金は団体加入（三名以上、家庭、友人、町内職場など、どんな組合でもよい）の場合は毎月その代表者へ集金に廻ることになっているが、個人加入は会費三ケ月分前納で、事務局（公民館内）へ持参願うことになっており、多数の加入を望んでいます。

農事メモ

霜害から作物を守ろう

苗代と畑作の管理

日中よく晴れて温度が高く、夜間になって温度が著しく下るような日の翌朝は霜のおりる危険がある。暖い日が続いた後の霜の被害は特に大きいから注意する。

▼稲作▲

1、ビニール苗代では、充分に外気にならして、中旬から行われる田植に備えなければならない。

2、保温折衷苗代では、油紙の除去適期（伸び一寸五分、本葉二枚位のとき）を失しないように注意する。油紙は暖い日をえらんで取り除くよう心掛ける。

3、苗代の追肥は、一回坪当り硫安一〇匁程度とする。

4、苗代害虫の駆除は共同で行い、本田にもち越さないよう防除の徹底を図る。

薬剤は、BHC粉剤（一%）を反当三キログラムの割合で撒布するか、又はDDT乳剤〇・〇五%液（水一石当り二〇%乳剤二合五勺を浴かす）を反当九斗撒布する。

5、苗代の防風かこいは、移植前十日～二週間前に取り除き、苗を丈夫にする。

6、本田の耕起は早めに行い乾燥を計ること。特に早植のビニールでは、整地を出来るだけ丁寧にする。

▼畑作、蔬菜▲

播種適期を失しないように作業を進める。

1、大豆は五月中旬～下旬で、適品種の選定、根瘤菌の接種、酸性の矯正、施肥の合理化、特に堆肥と燐酸の増施が増収のカギ。

2、馬鈴薯は晩霜に注意し早期培土を行うと共に、テントウ虫の早期防除と追肥をする。

3、蔬菜の直播きものは、おくれないよう播種するナス、トマトの温床管理日中は高温（三〇度位）にし、夜間は低温（一五度位）として、同化養分の蓄積を図る。定植一週間位前から節水すると共に、夜露にあて外気の状態にならす。定植は今月の下旬頃で、地温が十五度位になったら行う。

新生活運動の一環

押麦混食を始めよう

～農家の食生活改善～

秋田県の脳溢血による死亡率は全国一で、その主因は白米の過食にあるといわれています。

これからの食生活は、皆さんの嗜好に適し、栄養価の高い麦（押麦）の混食によって白米の偏食を防ぎましょう。

健康の増進と、新生活運動は、先づ麦の混食から！

押麦は白米の不足する栄養分を補い、脳溢血や脚気の予防になります。

押麦と白米の栄養価を比較すると……（）内は白米・何れも百瓦中の含有量を示す。……

▼蛋白質九・四瓦（六・四）、▼脂肪一・二瓦（〇・八）、▼カルシュウム、二十七粍瓦（六）、▼ビタミンB1、〇・二五粍瓦（〇・一〇）、▼ビタミンB2〇、〇八粍瓦（〇・〇四）

以上の比較を見ても、押麦の栄養価が、如何に高いものであるかがお解りでしょう。

押麦混食で暮しを楽に！

一人一日平均三合を食べるとして一ケ年で一石九升五合、これを二割混食すれば米二斗一升九合、一石一万二百五十円（平均）と見て二千二百四十五円。

麦二斗一升九合、一石四千四百十五円と見て九百六十七円となり差引一千二百七十八円の節約、一家族五人では年間六千三百九十円が節約される計算になります

押麦の、おいしい炊き方の工夫

1、洗い方

家庭で少量炊飯する場合は、米と一緒に洗います

団体炊事で大量の場合は、米と押麦を別々に洗ってから一緒に混ぜるとよく、洗い方は米も麦もゴミを除く程度にします

炊事の大体三～五時間前に洗いますと、おいしい御飯が炊けます。

2、水加減

米の水加減は普通の白米炊飯の水量（標準は米の二割増）とし、押麦の水加減は麦と同量にします

3、炊き方

白米炊飯と全く同様にします。

（押麦は市内米店、農協及び集荷業者などで販売しています）

巡回上映

スキー映画と結婚スライド

公民館で昨年十月、市の婦人会、青年会、成人会等の協力により設定した公民館様式の結婚式は、市民の皆さんに大変親しまれ、今迄三十余組の利用者があった上に、四月下旬から五月にかけては、殆んど連日という盛況振りです。県内外からの問合せ、見学、更に県政だよりの映画撮影、ラジオの録音紹介等もあって公民館では嬉しい悲鳴をあげています。

この結婚式の模様一切（経費も含めて）を収めたスライド（天然色、五十コマ録音付）は、県教育委員会の自作教材コンクールに第一位を得ましたが、この二月行われた全日本スキー選手権大会を公民館で撮影した八ミリの記録映画を併せて、御希望により町内、職場等に巡回映写を行うことにしています。上映時間は合せて四十分、職場の昼休みの時間町内の座談会などに利用して頂きたい。昼間上映の際は暗幕を貸出します。

尚又、町内や職場などの催しを八ミリ映画に収めたい場合は、フィルム代（一本四分間、七百五十円）を負担して頂ければ、公民館で出張撮影に当るとのこと御希望の向は、公民館に御連絡下さい。

小鳥を愛しましょう

五月十日から十六日まで全国的に愛鳥運動が行われます。

市林政課では、この運動に参画して、市内の小、中学校へ材料を提供し、巣箱を作り、樹木に取り付けて小鳥のスイートホームを沢山増やそうと、その協力方をお願いしています。

各御家庭でも、巣箱を作り庭の木に取りつけ、小鳥を可愛がってやって下さい。

この地方には、約六十数種の小鳥が住んでいますが、これらの鳥を、食餌によって分類すると 1虫類のような動物質を喰うもの五九% 2草の実や種子のような植物質と動物質とを混食するもの三八% 3植物質のみを喰うもの三%のようになっています。

動物質を主に喰うものが、農林業上益鳥で、植物質のみを喰うものは有害鳥ですが、併し、雀、鴉等のように農家の嫌われものでも、春から夏にかけて、雛を育てる間は、親鳥の栄養上と、雛に与えるため、非常に沢山の虫を採ってくれます。

雀について餌袋を調べたところ、昆虫類が五〇%、雑草種子二〇%、穀物が三〇%だったと云うことです

燕一羽が一日約百匹の虫を取るそうですから、普通四月上旬頃来て、九月上旬に帰るまでの間に、一羽で一万五千匹の虫を食べていることになります。

近頃いろいろな松の害虫が発生し、大変な被害を蒙っていることは御承知の通りですが、この原因も、一つは小鳥の減少のためであると云われています。

私達の大切な森林資源を、守るため、これ等可愛い小鳥の無益な殺傷や、巣を壊したり、卵をとったりする暴虐な行為はしないようお互いに注意しましょう。

みんな元氣にラジオ体操

大館市のラジオ体操の集いは昭和十一年に始まり、今では毎年五月より十月末迄の毎朝三十五町内で行う程の盛況ぶりです。公民館から毎月配布する出席カードも二千枚から三千枚にもなっております。昨年度は期間中出席率が九五%以上の人が三九六人、八〇%以上が四八九人と云った好調振りです。

例年ラジオ体操は五月三日の開始大会を期して、夫々の町内で行うことになっています。公民館では、今年も同様に行うことにしましたので、新しく始めようとする町内には、連絡次第「ラジオ体操図解」や出席カードをお上げすることになっています。

押売り撃退の秘訣

×××× 多いあいさつ口上 ××××

市民のみなさん、いよいよ行楽のシーズンとなり勢い家の中より外の方がよくなって、誰もが心のゆるみがちな季節が参りました。

目下警察の方では、この時期に最も多く発生する空巣忍込み、風俗犯罪等の防止について、市の防犯協会と緊密な連絡をとって、防犯運動を展開中であります。

今回は日頃留守番をなされている御婦人や、老人方の為に、押売りの告白をお話して御参考に供したいと思います。

一　押売の狙らい所

㋑中流家庭、年は二七・八位の若い奥さん

㋺月給日

二　押売りの方法

これにはいくらもありますが

㋑泣きたく＝これは、かわいそうな身の上話を作って、涙でさそう方法

㋺揚げたく＝これは、引揚者になりすましてやるもの

㋩ごろたく＝これは、土地の顔役又は、やくざ渡世の男だとか言ってやる方法

㊁むしたく＝これは、〇〇刑務所を出て来たもので、世間の事はわからない、何分更生の援助をたのむというのでやる方法

㋭孤児たく＝これは、戦争孤児だと言って、子供にやらせる手です

㋬学生たく＝これは、にせ学生のアルバイトで、現在これが一番多く、本当の学生は五十人に一人の割合のようです

大体これ位の様でありますが、たくと言うのはあいさつ口上の事であります。

三　押売りを防ぐにはどうしたらよいか

㋑押売りはすぐ警察へ「〇〇警察署」といったような貼札が、各戸にあるところとか、部落の入口に、このような立札のあるところは商売がしにくかったこと

㋺番犬のいるところも中に入れない

㋩又常会防犯協会等で申し合わせて絶対買わないようにすること

四　若し押売りに入られたらどうするか

㋑はじめにきっぱり断わること、断わったらさっさとその場をはなれること

㋺、近所の人が大勢集って来ること

㋩、「うちでは、どんな人が来ても絶対に買わないから」と話をする

等でありますが結論として

◎きっぱりことわること

◎品物に手をふれないこと

◎不用意に「押売り」などと言わないこと

◎近所の人があつまってやること

等であります。又この他に色々あると思ひますが自分の家が終ればよいからと言って、買うことが一番よくないことと思います。みんなで力を合せて速かに警察に連絡して被害を最少限度にとどめる事だと思ひます。この次は、機会があれば盗難の予防について申し上げ御参考に供したいと思います。

（警察署）

押売りはすぐ警察へ！

大館市防犯協会

秋田県大館警察署

TEL一一〇番

きりとって戸口へ貼って下さい。